



島嶼産業研究会

会報

第 22 号 2021 年 7 月 18 日 (日)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

多くの地域で梅雨明けが発表され、いよいよ夏も本番を迎えます。酷い暑さのもとでのマスク着用生活はなかなかしんどいものがあります。みなさまも体調を崩されませんようご自愛ください。

島嶼産業研究会 事務局

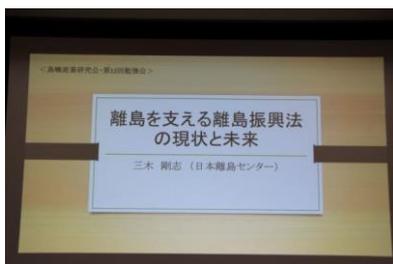
1. 第 12 回・勉強会を開催しました

7 月 17 日 (土) 14 時 30 分より、鹿児島大学水産学部において、日本離島センターの三木剛志様より「離島を支える離島振興法の現状と未来」と題した講演を頂きました。

はじめに、日本の島々の構成と概要について紹介がありました。「島」の定義、日本の島々の構成、離島振興関係 4 法の対象地域などについて詳しい解説がありました。

その後、離島振興政策と施策の展開について、1886 年の小学校令まで遡って解説を頂きました。そして離島振興法制定の背景、第 1 次離島振興から第 7 次離島振興（現在）の重点項目や支援内容の移り変わりについて詳細な説明がありました。そして、離島の現状と今後の振興について、第 7 次離島振興の具体的内容、特別措置法（奄美、小笠原、沖縄）や有人国境離島法との関係や施策のポイントなどかかる解説後、2023 年に予定されている第 8 次離島振興に求められる施策の内容等について紹介がありました。ディスカッション・セッションでは数多くの質問があり、予定時間を 30 分ほど延長するなど、参加者の高い問題意識が伝わってきました。

離島振興法について網羅的に学ぶ貴重な機会になりました。三木様、お忙しいなかでのご講演、ありがとうございました。



勉強会の様子：20 名をこえる参加者がありました（オンラインを含む）